資料２

＜令和６年度の事業報告＞

１．宇部まつり出展

日　　時：令和６年 11 月３日（日）11 時～16 時
出展場所：うべ💚＆エコ広場【国道 190 号線新川大橋上】
ﾌﾞｰｽ名称：デロリアン展示コーナー
協　　力：株式会社 JEPLAN
出展内容
・デロリアンの展示及び記念撮影・乗車体験
・子ども向けの関連イベント等
① 楽しくペットボトルのリサイクルが学べるスゴロク(リサイコロ)の実施
② 環境にやさしい！「土に戻る粘土」によるワークショップの開催
③ 動画上映（食品ロス削減、小型家電回収、段ボールコンポストなどのＰＲ動画）
参加者数
・デロリアンの展示及び記念撮影・乗車体験：160 組 406 名
・楽しくペットボトルのリサイクルが学べるスゴロク(リサイコロ):24 組 72 名
・環境にやさしい！「土に戻る粘土」によるワークショップ:197 名

２．事業者研修会

主　　催：宇部市
日　　時：令和７年１月 22 日（水）14 時～16 時
会　　場：ときわ湖水ホール　大展示室
内　　容：講演①「みんな参加型の循環型社会」について
株式会社 JEPLAN 取締役執行役員会長　岩元 美智彦
講演②「廃棄物処理等における労働災害の現状と対策」
宇部労働基準監督署 労働基準監督官　開 俊統
その他　市内事業者による事例発表　など
参加者数：[許可業者] 52 業者 64 名、[排出事業者] 33 業者 35 名、[環境団体等] 8 名

３．段ボールコンポスト

家庭からの食品残渣を堆肥化し、野菜・花づくりに活用していく仕組みを構築することにより、生ごみの減量を推進することを目的に段ボールコンポストの普及を促進。課題である新規ユーザー獲得のため、令和４年度から宇部市民を対象に段ボールコンポストの無料交付を開始。

＜段ボールコンポストの交付実績＞
交付箇所：各地区ふれあいセンター（24 か所）、宇部市環境衛生連合会、廃棄物対策課
交付実績：令和６年度 1,143 個（令和５年度 1,198 個、令和４年度 1,186 個）

＜段ボールコンポスト教室（初心者向け講習会）の開催＞
主　　催：宇部市
日　　時：令和６年 10 月 11 日（金曜日）14 時～15 時
令和６年 10 月 12 日（土曜日）10 時～11 時
会　　場：宇部市総合福祉会館 ４階 大ホール
参加者数：各回定員 15 名

＜過去５年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
一般向け講習会	5 回	14 回	15 回	14 回	14 回
	74 人	223 人	320 人	301 人	443 人
販売等個数	540 個	399 個	1,186 個	1,198 個	1,143 個
環境学習	小学校 8 校	小学校 8 校	小学校 8 校	小学校 7 校	小学校 9 校
	保育園 0 園	保育園 1 園	保育園 0 園	保育園 0 園	保育園 0 園
各種イベントでの展示説明会	1 回	2 回	8 回	6 回	5 回

４．収集ごみ組成調査

収集ごみ（家庭系ごみ）におけるごみ種類の実態を把握するため、家庭から排出される月水金の燃やせるごみの組成調査を実施。これまで宇部市焼却場において、ごみピットに投入される燃やせるごみ全体の組成調査を実施しているが、搬入方法別の調査は未実施であることから、今後のごみ減量施策の基礎資料とするため、収集ごみ組成調査を実施するもの。

また、収集日（曜日、季節等）や収集地区によりごみ種類に偏りが出ることから、本調査は、収集地区等を考慮しつつ継続することとし、データを蓄積して平均値を算出する。

＜調査実施状況＞

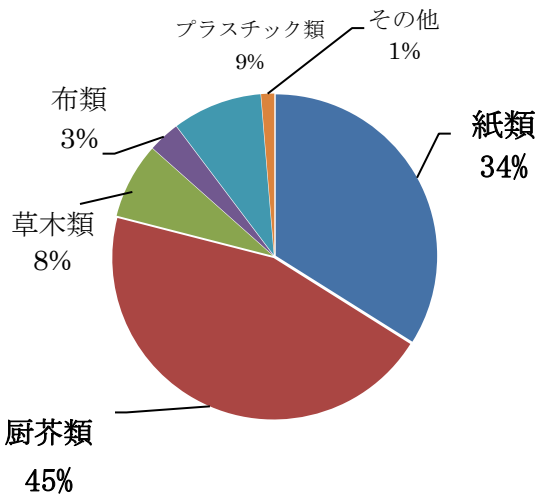
年度	回数	実施月	実施地区
R4	2 回	11 月・2 月	川上・西岐波・原・厚東
R5	4 回	6 月・9 月・12 月・3 月	東岐波・西宇部・藤山・黒石
R6	6 回	5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月	琴芝・小羽山・常盤・厚南・上宇部

※令和７年度は６回実施予定

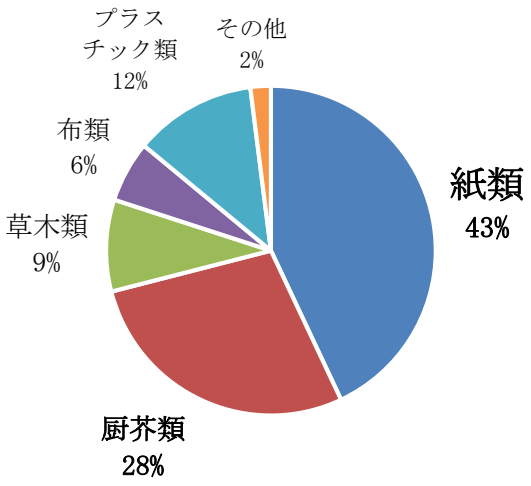
【参考】

＜調査結果＞下記グラフのとおり

令和4年度からの収集ごみの組成



令和6年度可燃ごみ全体の組成



５．宇部市ごみ減量化機器等購入費助成金

ごみの減量化対策の一環として、宇部市における一般家庭等から排出される生ごみ及び剪定枝葉の減量化及び再資源化を推進するため、対象となるごみ減量化機器等を購入した際に係る購入経費の一部を助成（令和２年 11 月開始)。令和４年度から、自治会清掃で発生する草木等の減量化及び再資源化を目的としてガーデンシュレッダー購入費補助の対象者に「自治会」を追加。

＜助成金額＞

対象機器等本体の購入価格（送料及び消費税相当額を除く。）の２分の１

［個　人］限度額 25,000 円　１世帯当たり１基まで

［自治会］限度額 50,000 円　１自治会当たり３基まで（対象機器等はｶﾞｰﾃﾞﾝｼｭﾚｯﾀﾞｰのみ）

＜過去５年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生ごみ処理機	18 基	22 基	18 基	39 基	44 基
ガーデンシュレッダー	50 基	30 基	27 基	10 基	16 基
合　計	68 基	52 基	45 基	49 基	60 基
助成金額（円）	1,056,100	800,600	815,200	1,039,900	1,199,300

６．食品ロス削減への取組

食品ロス削減の取組として、令和元年７月から NPO 法人フードバンク山口と連携してフードバンク事業を開始。

※福祉の観点で事業を推進するため、令和５年度から地域福祉課へ業務移管

＜フードバンクとは＞

まだ食べられる状態で余っている食品を提供してもらい、それを必要とする施設や団体等に引き渡す活動。

＜フードバンクポスト設置場所＞

市役所本庁、アルク厚南店、アルク南浜店、アルク琴芝店、コープここと宇部店、
ゆめタウン宇部、アルク西岐波店、アルク西宇部店、アルク恩田店　フジグラン宇部、
フジ西宇部店　計 11 箇所

＜過去５年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回収実績（個数）	19,865 個	27,367 個	24,736 個	17,629 個	16,203 個
回収実績（重量）	3,940 kg	5,485 kg	4,812 kg	5,493 kg	4,084 kg
提供実績（個数）	12,500 個	23,948 個	20,957 個	15,011 個	14,560 個
提供実績（重量）	2,572 kg	4,424 kg	4,027 kg	4,809 kg	2,876 kg

＜食品ロス削減イベントの開催＞

主　　催：宇部市
協　　力：株式会社フジ、NPO 法人フードバンク山口
日　　時：令和 6 年 10 月 20 日（日）11 時～16 時
　　※啓発パネル展示及びごみ減量施策紹介は 10/15（火）～10/20 実施
会　　場：フジグラン宇部 1 階 グランモール特設会場
内　　容
・フードドライブ
・食品ロスさよならクイズ
・食品ロス削減の啓発動画再生及び啓発パネル展示
参加者数
・フードドライブ　3 名（回収食品個数：21 品 重量：122.886kg）
・食品ロスさよならクイズ　85 名（総参加者数 200 名）

＜エコクッキングの開催＞

・夏休み親子エコクッキング教室
共　　催：生活協同組合コープやまぐち
日　　時：令和 6 年 8 月 5 日（月）10 時～12 時
場　　所：あい愛館（ここと宇部店横組合員集会室）
参加者数：親子 6 組 計 13 名（小学 4～6 年生の子どもとその親を対象）
メニュー：ドーナツ（基本レシピに余った食材（にんじん）を混ぜたもの）
学習内容：エコクッキング、食品ロスについての説明及びクイズを実施

・エコクッキング教室
共　　催：宇部市食生活改善推進協議会
日　　時：令和 7 年 1 月 16 日（木）9 時 30 分～12 時 30 分
場　　所：保健センター
参加者数：19 名
メニュー：たけのこカレー（中華風）、レンコンと人参の酢炒め、
　　ごぼうとさつまいものきんぴら、もちもち大根餅
学習内容：エコクッキング及び食品ロスについての説明

＜事業所訪問の実施＞

食品ロス削減のため、年末の宴会シーズンに宇部観光料飲組合と連携し、30・10 運動及びやまぐち食べきり協力店制度を周知するとともに、直接、飲食店を訪問し、やまぐち食べきり協力店制度の登録や 30・10 運動の取組への協力を依頼。

＜過去 5 年間の実績＞

年　度	R2	R3	R4	R5	R6
事業所訪問件数	34	12	19	19	19
3010 運動訪問件数	－	－	－	30	57
合　計	34	12	19	49	76

＜街頭啓発ティッシュ＞

＜30・10 運動チラシ＞

7．古着・古布のリサイクル推進

家庭で不用になった古着・古布を各ふれあいセンター等で回収し、障害福祉サービス事業所でウエス（工業用雑巾）に加工。

令和元年度からは、各地区のふれあいセンターに設置している古着・古布回収ボックスにより回収された量に応じて発生した収益を、当該地区に対して交付金として分配。

＜回収場所＞　各ふれあいセンターなど公共施設　計 30 箇所

＜過去 5 年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回収実績（重量）	56,134 kg	49,856 kg	45,336 kg	44,884 kg	50,642 kg
（対前年比）	△4%	△11%	△9%	△1%	12.83%↑

＜課　　題＞

不適物の混入が多く見られる。

＜今後の取組＞

・地域への交付金配布が回収量増加に繋がったことから、今後も地域への支援を継続する。
・地域の講習会等で本制度を周知することで、回収量の増加と不適物の排除を図る。

８．子育て支援リユース事業

家庭で不用になった子供服・絵本、子育てグッズ、子ども用スポーツグッズ、学生服、学用品を市役所等で回収し、リユースフェア等で希望者に無料で譲渡することでリユースの促進を図る。

【子供服・絵本】※平成 24 年 6 月から回収開始

・回収場所　市役所本庁など公共施設等　計 13 箇所

・ときわ湖水ホール等で「子供服・絵本リユースフェア」を開催

・混雑の解消等を図るため、参加者を宇部市民に限定し、令和 7 年 4 月以降は LOGO フォーム（電子申請）による完全予約制を導入

＜過去 5 年間の実績＞

年度（開催回数）		R2（8 回）	R3（7 回）	R4（9 回）	R5（9 回）	R6（9 回）
回収実績	子供服	17,810 枚 2,868kg	14,290 枚 2,679kg	14,833 枚 3,881kg	16,302 枚 4,007kg	19,171 枚 4,507 kg
	絵　本	2,750 冊 881 kg	3,491 冊 1,121 kg	2,140 冊 665 kg	4,121 冊 945 kg	3,841 冊 744 kg
譲渡実績	子供服	15,146 枚	12,046 枚	13,625 枚	13,153 枚	13,612 枚
	絵　本	2,511 冊	2,426 冊	3,649 冊	3,431 冊	3,848 冊

【子育てグッズ】※平成 26 年 9 月から回収開始

平成 28 年 4 月からは学生服を、平成 29 年 4 月からは学用品を新たな品目として追加した。

・回収場所　市役所本庁など公共施設等　計 14 箇所

・福祉ふれあいセンター等で「子育てグッズリユース広場」を開催

・混雑の解消等を図るため、参加者を宇部市民に限定し、令和 7 年 4 月以降は LOGO フォーム（電子申請）による完全予約制を導入

・令和 6 年度から「子育てグッズリユース広場」の会場内に「フリーコーナー」を新設し、譲渡数の増加を図った。

・事前予約によるベビーベッド、学生服、学用品の随時譲渡を実施

・委託先：宇部市シルバー人材センター

＜過去 5 年間の実績＞

年度（開催回数）		R2（5 回）	R3（6 回）	R4（7 回）	R5（7 回）	R6（6 回）
回収実績	子育てグッズ	830 個	1,074 個	701 個	1,759 個	2,362 個
	ｽﾎﾟｰﾂｸﾞｯｽﾞ	262 個	413 個	438 個	299 個	340 個
	学生服	487 枚	560 枚	557 枚	1,074 枚	649 枚
	学用品	163 個	197 個	133 個	410 個	516 個
	回収重量（計）	1,942 kg	2,579 kg	2,208 kg	4,259 kg	4,762 kg
譲渡実績	子育てグッズ	616 個	725 個	913 個	842 個	2,269 個
	ｽﾎﾟｰﾂｸﾞｯｽﾞ	275 個	244 個	240 個	164 個	209 個
	学生服	396 枚	571 枚	557 枚	651 枚	573 個
	学用品	90 個	126 個	133 個	263 個	426 個

＜その他の取組＞

子育てひろば交流会へ出展

主　　催：生活協同組合コープやまぐち　宇部地域子育てひろば

後　　援：宇部市

日　　時：令和 6 年 10 月 23 日（水）10 時～12 時

会　　場：西部体育館

出 展 課：こども支援課、健康増進課、廃棄物対策課

出展内容

・子供服、絵本、子育てグッズを点数限定で提供

・リユースフェア、リユース広場の説明、案内（パネル、のぼり設置）

・チラシの配布

来場者数：[イベント来場者] 55 組（うち、当課コーナー来場者 47 組）

リユース品配布数：[子供服] 56 枚、[絵本] 96 冊、[おもちゃ] 30 個

９．家庭系廃食油のリサイクル推進

家庭系廃食油について、スーパーの店頭やふれあいセンター等で回収し、廃食油を精製してバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルする取組

＜回収場所＞

コープ宇部店、アルク（南浜店、恩田店、西岐波店、厚南店）、山口アポロ石油株式会社（宇部西営業所、八幡宮前営業所、ドリームライフアポロ）、川上・西宇部・船木ふれあいセンター　計 11 箇所

＜BDF 精製＞　㈱アースクリエイティブ

＜過去 5 年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回収実績	14,894ℓ	14,952ℓ	12,988 ℓ	13,688 ℓ	13,846 ℓ
(対前年比)	11%↑	0.4%↑	△14%	5.3%↑	1.1%↑

＜今後の取組＞　今後も引き続き、本事業の周知徹底を図る。

１０．使用済小型家電リサイクル

家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等で回収し、国の認定事業者に引渡して再資源化の促進を図った。

＜回収場所＞　各ふれあいセンター、市役所本庁、リサイクルプラザ　計 26 箇所

＜過去 5 年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回収実績	8,478 kg	10,420 kg	9,965 kg	9,456 kg	8,505 kg
(対前年比)	31%↑	23%↑	△4%	△5%	△10%

＜課　　題＞　不適物の混入が見られる（電池、プラスチック製品等)。

＜今後の取組＞

・回収ボックスに対象品目等が分かる掲示物を貼付して、不適物の混入を防ぐ。

・地域の講習会等で本制度を周知することで、回収量の増加と不適物の排除を図る。

＜その他の取組＞

リネットジャパンリサイクル株式会社（小型家電リサイクル法認定事業者）と連携協定を締結し、令和３年２月から、宅配便による便利な自宅回収を開始

＜過去５年間の実績＞

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回収実績	2,247 kg	3,527 kg	2,887 kg	3,326 kg	2,602 kg
（対前年比）		57％↑	△18％	15％↑	△21％

資料３

＜令和７年度の主な事業について＞

１．各種申請手続きの電子化

令和７年４月１日から、再生資源集団回収奨励金及びごみ減量化機器等購入費助成金の交付申請手続きについて、LOGO フォーム（電子申請）による申請受付を開始

＜期待される効果＞

・役員の負担軽減（書類を書く手間が省け、簡単な電子申請手続きで業務を効率化！）

・利便性の向上（365 日、24 時間いつでもどこでも自分のタイミングで申請可能！）

・コスト削減（郵送や移動に係るコストをカットして経済的に！）

※従来どおり、郵送・持込による申請受付も可能です。

＜今後、電子化を予定している手続き＞

・粗大ごみの戸別収集の申込み

・自治会清掃に伴うドラム缶貸出し等の申込み

２．製品プラスチック分別収集等の検討開始【新規】

プラスチック資源循環法に基づき、本市における製品プラスチックの分別収集やリサイクルの方法を検討中

３．小学生を対象に不用品を活用した工作教室の開催【新規】

宇部市地球温暖化対策ネットワーク宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）と連携し、小学生とその親を対象に不用品を使った冬休み工作教室を企画中。